

愛と平和の神

平和祈念礼拝

2022/8/7

ウクライナ侵略が教えたこと

- 平和ではなかった世界
 - ロシアによるウクライナ侵略は一見平和に見えていた世界がそうでなかったことを思い知らせた
- 核の脅威
 - 核兵器がいつ使われてもおかしくない状況
 - プーチンは核兵器の使用をちらつかせることで反対勢力を押さえ込むことに成功している
- 情報統制は可能である
 - インターネット社会であってもメディア（TVなど）を支配することで、民意をコントロールする

戦争と平和について考えた

- 武器のあるところに平和はない
 - 実際に戦争が行われていなくても平和であるのではない
 - 誰かが武器を持っている時点で平和は存在しないと考えるべき
- 奪い合う世界に平和は生まれない
 - それぞれが自国の利益を優先し、限られた食料や資源を奪い合っている以上、必ず争いが起こる
- 戦争は新たな戦争を生む
 - 世界中で軍事費が増大している

今日のみ言葉

終わりに、兄弟たち、喜びなさい。完全な者になりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。

コリント二13章11節

パウロが命じる5つのこと

- 喜びなさい
 - 感情的にはではなく意志として喜ぶ
- 完全な者になりなさい
 - 完全を目指す
- 励まし合いなさい
 - 徳を立て合う
- 思いを一つにしなさい
 - 主に向かって互いを受け入れ合う
- 平和を保ちなさい
 - 平和を維持するために努力する

パウロが命じる5つのこと

- 喜びなさい

- 感情的にではなく意志として喜ぶ

- 完全な

- 完全

- 励まし

- 徳を

- 思いを

- 主に

- 平和を保ちなさい

- 平和を維持するために努力する

そうすれば、
愛と平和の神が
あなたがたと
共にいてくださいます。

「愛と平和の神」

- 愛の神であると同時に平和の神である
 - 「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」マタイ5:9
- 私たちとの平和のため独り子さえ与えられた
 - 「わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており…」ローマ5:1
- キリストは人と人との平和も造られた
 - 「実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し…」エフェソ2:14

イザヤ書2章1～5節

アモツの子イザヤが、ユダとエルサレムについて幻に見たこと。終わりの日に／主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ち／どの峰よりも高くそびえる。国々はこぞって大河のようにそこに向かい／多くの民が来て言う。「主の山に登り、ヤコブの神の家に行こう。主はわたしたちに道を示される。わたしたちはその道を歩もう」と。主の教えはシオンから／御言葉はエルサレムから出る。主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし／槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず／もはや戦うことを学ばない。ヤコブの家よ、主の光の中を歩もう。

最後の希望

- 「主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ち」
 - 主なる神があらゆる支配の頂点に立つ
- 「主はわたしたちに道を示される。わたしたちはその道を歩もう」
 - 人々は主なる神の教えにのみ従う
- 「主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。」
 - 主なる神のみが正しく国々を裁かれる
- 「もはや戦うことを学ばない」
 - 戦いのための備えをしない(剣を鋤に槍を鎌に)

最後の希望

- 「主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ち」
 - 主なる神があらゆる支配の頂点に立つ
- 「主は
はその
• 人々
- 「主は
れる。
• 主なる神があらゆる支配の頂点に立つ
- 「もはや戦うことを学ばない」
 - 戦いのための備えをしない(剣を鋤に槍を鎌に)

(だから)
ヤコブの家よ、
主の光の中を歩もう！